

(参考様式1-1)

## 農山漁村発イノベーション整備事業(定住促進・交流対策型)事業実施計画

計画主体名	計画期間
ひみし 氷見市	令和5年度～令和9年度

<連絡先>

担当課	電話番号	FAX番号	メールアドレス
産業振興部農林畜産課	0766-74-8086	0766-74-1447(建設部ふるさと整備課内)	nourin@city.himi.lg.jp

### 【記入要領】

計画主体名

- ・市町村名にはふりがなをふること。
- ・共同で作成する場合は、全ての計画主体を掲げるとともに、代表となる計画主体には(代表)と記載すること。

計画期間

- ・計画期間は活性化計画の計画期間を記入すること。

連絡先

- ・共同計画の場合は行を追加し、全ての計画主体の連絡先を記入すること。

メールアドレス

- ・当該交付金に係る連絡に利用できるメールアドレスを記入すること。

## I 事業活用活性化計画目標

事業活用活性化計画目標	事業活用活性化計画目標の設定根拠
農林水産物等の販売・加工促進	貯蔵施設を整備することにより、拡張した圃場にて栽培された醸造用ぶどうの受入・安定供給が可能となり、地域産物としてのワインの生産本数、販売額が増加する。また、「ワインバレーのシンボル」として、地域間交流・連携の拠点となり雇用者の増加に繋がるものと考え、今回の目標を設定した。

## II 評価指標

第1評価指標(必須)	具体的数値目標	具体的数値目標の算出方法
	156,696(千円)－39,485(千円) ＝117,211(千円)	
第1評価指標の設定根拠		

### 【現状値】

令和元年度(2019年度)から令和2年度(2021年度)までの3年間の(株)T-MARKSにおけるワイン売上実績から算出した数値。

地区名	現状値(千円)			3年間合計 (千円)	3年間平均 (千円)
	R1	R2	R3		
余川・十二町 八代地区	38,909	41,374	38,172	118,455	39,485
※参考数値 ワインの生産量(本)	17,873	17,767	15,749		

### 【目標値】

令和7年度(2025年度)から令和9年度(2027年度)までの3年間の(株)T-MARKSにおけるワイン売上高の見込額から算出した数値。

地区名	目標値(千円)			3年間合計 (千円)	3年間平均 (千円)
	R7	R8	R9		
余川・十二町 八代地区	151,208	154,601	164,278	470,087	156,696
※参考数値 ワインの生産量(本)	39,725	41,375	46,325		

第2評価指標(任意)		具体的数値目標		具体的数値目標の算出方法	
雇用者数の増加		18.77(人)－11.67(人) ＝7.1(人)		計画区域における雇用者の増加人数(人)＝【目標値】－【現状値】	
第2評価指標の設定根拠					
<b>【現状値】</b>					
令和元年度(2019年度)から令和3年度(2021年度)までの3年間の(株)T-AMRKSにおける常時雇用者数。					
雇用形態	現状値(人)			3年間合計 (人)	3年間平均 (人)
	R1	R2	R3		
常時雇用者数(現在)	10	11	14	35	11.67
<b>【目標値】</b>					
令和7年度(2025年度)から令和9年度(2027年度)までの3年間の(株)T-AMRKSにおける常時雇用者数。					
雇用形態	目標値(人)			3年間合計 (人)	3年間平均 (人)
	R7	R8	R9		
常時雇用者数(現在)	14	16	20.16	50.16	16.72
常時雇用者数(新規)	2	4.16	0	6.16	2.05
目標常時雇用者数	16	20.16	20.16	56.32	18.77

第3評価指標(必須)		具体的数値目標		具体的数値目標の算出方法	
農産物(醸造用ぶどう)の生産量増加		57,921(kg) - 23,358(kg) = 34,563(kg)		計画区域において生産された農林水産物の生産数量の増加量(kg) = 【目標値】 - 【現状値】	
第3評価指標の設定根拠					
【現状値】 令和元年度(2019年度)から令和3年度(2021年度)までの3年間の(株)T-AMRKSにおける決算から算出した数値。					
地区名	現状値 (k g)			3年間合計 (k g)	3年間平均 (k g)
	R1	R2	R3		
余川・十二町 八代地区	24,372	24,227	21,476	70,075	23,358
【目標値】 令和7年度(2025年度)から令和9年度(2027年度)までの3年間の(株)T-AMRKSにおける生産数量の見込みから算出した数値。					
地区名	目標値 (k g)			3年間合計 (k g)	3年間平均 (k g)
	R7	R8	R9		
余川・十二町 八代地区	54,171	56,421	63,171	173,762	57,921
評価期間(原則として3年間の効果発現状況を把握する期間)			評価報告予定年(評価期間の終了直後の9月末日まで)		
令和7年4月～令和10年3月			令和10年		

### Ⅲ 温室効果ガス排出量の削減目標

温室効果ガス排出量削減目標	温室効果ガス排出量削減目標の設定根拠

#### 【記入要領】

全般

・必要であれば適宜欄の拡大、行の追加をすること。

事業活用活性化計画目標

・事業活用活性化計画目標の項目は実施要領別記3の別紙に掲げる項目から選択するものとする。

評価指標

・評価指標の記載に当たっては実施要領別記3及び「事業活用活性化計画目標の評価指標の設定について」により記入すること。

温室効果ガス排出量削減目標・発電施設の整備を実施する場合に記載

※実施要領別記3の第4の3の(1)のイに記載の発電施設の単独設置を実施する場合、I 及びII は記載不要。

#### IV 活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標と交付対象事業の関連性

事業メニュー名	地区名	事業内容	事業規模等	実施期間	事業実施主体	全体事業費 (千円)	交付金要望額 (千円)	交付額 算定交付率	交付限度額 (千円)	活性化計画の目標及び 事業活用活性化計画目標との関連性	備考
地域連携販売力強化施設	余川・十二町・八代	醸造設備(ステンレスタンク・樽)等の増設	ステンレスタンク、樽 一式	令和5年度	(株)T-MARKS	86,903	35,519	50%	35,519	地域販売力強化施設を整備することにより、地域の耕作放棄地等で収穫された農産物に更なる付加価値を付け、地域産物の販売額増加、雇用者数の増加、農産物(醸造用ぶどう)の生産数量の増加により、当該地区の活性化を図る。	
地域連携販売力強化施設	余川・十二町・八代	貯蔵施設設計 ワイン貯蔵施設	実施設計:一式 貯蔵施設:1棟(791㎡) 外構工事:一式	令和5年度 ～ 令和6年度	(株)T-MARKS	599,403	139,687	50%	139,687		
合 計						686,306	175,206		175,206		

#### 【記入要領】

- ・必要であれば適宜欄の拡大、行の追加をすること。
  - ・創意工夫発揮事業である場合は、事業内容欄に一体として行う事業メニュー名及び一体的に行う必要性を併せて記載すること。
  - ・事業メニュー名欄には、実施要領別記3の別表2の事業メニュー名を記入すること。
  - ・地区名欄には、事業の実施地区名を記入すること。
  - ・事業内容欄は、整備しようとする具体的な施設の内容を記載すること。
  - ・事業規模等欄は、施設ごとの棟数と床面積、林道や森林管理道等の場合は地区名と延長など、それぞれの事業内容に応じた事業規模を記載すること。
  - ・活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標との関連性欄は、これら目標を達成する上で、各々の事業の実施が必要な理由を記載すること。なお、別表2の(3)の③自然・資源活用施設の単独整備を実施する場合は記載不要。
  - ・「農泊」の取組を実施する場合には、備考の欄にどのように「農泊」と関連するかを明記すること。
- (※)「農泊」とは、農山漁村において、日本ならではの伝統的な生活体験や農山漁村地域の人々との交流を楽しむ滞在(農山漁村滞在型旅行)をいう。

## V 他の施策との連携に関する事項

連携する施策名	事業メニュー名	地区名	連携する施策と交付対象事業の関連性等
中山間地農業ルネッサンス事業 地域別農業振興計画に基づく施策	地域販売力強化施設	余川・十二町・八代	地域別農業振興計画に、「地域の特色を活かした農業の展開」の中で農産物の差別化・高付加価値化において、実需者の要望に応じた品種の作付けに対応し、地域特性にあった果樹生産等を行う取組方針を示す。
国土強靱化施策	地域販売力強化施設	余川・十二町・八代	氷見市ワインバレー構想活性化計画に記載している、耕作放棄地対策による農地保全や鳥獣対策について、氷見市国土強靱化地域計画内の施策分野「産業」「国土保全・交通物流」にそれぞれ位置づけている。
福祉、教育、観光等と連携した地域活性化に向けた取組	地域販売力強化施設	余川・十二町・八代	「日本農業遺産保全計画(第1期)8」に「6次産業化の推進」を位置づけ、国・県・市の補助事業を活用し、6次産業化に係る事業への支援、協力、広報を実施する。

### 【記入要領】

- ① 交付対象となる事業のうち、実施要領第6に掲げる施策と連携して実施する事業にあつては、連携施策名、連携施策の内容及び交付対象事業との関連性を記載すること。
- ② 連携する施策名には、実施要領第6に掲げる施策を記載すること。
- ③ 事業メニュー名欄には、実施要領の別表2の事業メニュー名を記載すること。
- ④ 地区名欄には、事業の実施地区名を記入すること。
- ⑤ 必要であれば適宜欄の拡大、行の追加をすること。

## VI 農山漁村発イノベーション等整備事業(定住促進対策型、交流対策型)年度別事業実施計画

	計画の提出年度	新規・変更の区別 新規「1」 変更「2」	都道府県	計画主体	市町村名	地区名	地域指定状況								計画期間 最終年度		
			名称	名称			山村振興	過疎地域	特定農山村	半島振興	離島振興	豪雪地帯	急傾斜地	奄美群島		指定棚田地域	
事業別内容	R5	1	富山	氷見市	氷見市	余川・十二町・八代		○		○							R9
	R5	1	富山	氷見市	氷見市	余川・十二町・八代		○		○							R9
①事業費計																	
②市町村等附帯事務費																	
③県附帯事務費																	
総合計(①+②+③)																	
共同で計画作成を行う場合の内訳																	
〇〇町	事業費(ハード)																
	市町村等附帯事務費																
××県	事業費(ハード)																
	都道府県附帯事務費																
	市町村等附帯事務費																

### 【記入要領】

・実施要領別記3の第4の3の(1)のイに記載の発電施設の単独設置を実施する場合、計画の提出年度欄には、発電施設等を附帯する活性化施設の整備を実施する際に作成した活性化計画の提出年度を記載すること。









